

加納時男 国土交通副大臣挨拶

レヴィチン大臣閣下、代表団の方々、そして会場にお集まりの皆様。

本日はロシアにおける運輸インフラプロジェクトセミナーにご参加いただきありがとうございます。本日のセミナーはレヴィチン運輸大臣から当省に対し、ロシアにおける運輸関連プロジェクトに関心のある日本とロシアのビジネス界の会合のご提案をいただいたことが契機となっております。このたび今日から始まります「交通分野における地球環境・エネルギーに関する大臣会合」出席のためレヴィチン大臣を団長とするロシア代表団が訪日される機会をとらえて、ここにセミナーを開催することになりました。本セミナーの開催にあたっては日本経団連日本ロシア経済委員会、海外運輸協力協会、日本鉄道車輛輸出組合、海外建設協会、ロシアNIS貿易会の皆様、以上の団体・組織よりご協力をいただきました。ご参加ご協力いただきました企業・団体の方々に対して心より感謝申し上げます。

皆様ご承知のとおり、ロシアは広大な国土と豊富な天然資源を有し、近年高い経済成長を遂げてきました。現在、米国の金融危機を発端とした世界経済の悪化した状況の中で各国とも苦しんでいる訳ですが、長期的な観点からのロシア経済の潜在力に変わるところはありません。

こうしたなか、経済発展の基盤となるインフラの整備、とりわけ交通インフラの整備は非常に大きな課題であるといえます。そして、このようなロシアの運輸インフラ分野における将来的なビジネスチャンスの可能性に関心を有する日本企業は少なくないと思います。

しかし一方では、日本企業にとって個別プロジェクトに関する情報収集がむずかしいという声も良く聞くところです。例えば、プロジェクトの担当部署はどこか、全体費用のうちどこまでを民間資金でまかなうのか、プロジェクトのどの部分を外国企業に任せるのかといった具体的な問題です。実際の投資やプロジェクトの参加にあたっては、こうした情報が不可欠であります。

日本とロシアの双方にとって有益な貿易投資環境が構築されるように、政府、民間企業の間でこれまで以上に活発な情報や意見の交換が行われることが望まれています。

最後になりますが、このセミナーが皆様にとって有意義なものとなることを祈念して、主催者としての挨拶に代えさせていただきます。

ありがとうございました。